

(様式1)

## 令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 中郡中 ) 学校運営協議会長

### <本年度の目標>

- ・ブレインストーミングにより思考や価値観を共有して作成した「中郡中学校になってほしい姿」をもとに、地域・学校の取り組み方を明確にして、具体的な支援を考えたい。
- ・学校運営には地域の人材を活用することが大切だと考える。委員として様々な分野で活躍されている方の情報を収集して、学校とつなげられたらいいと思う。
- ・教職員との互いの顔の見える関係が必要である。

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長より令和6年度のグランドデザインの説明をしていただき、学校教育目標等を共有し、学校・地域・家庭がともに子供を育成する基本方針を理解することができた。
- ・キャリア教育の重点として「読解力・コミュニケーション力」の育成を進めるために地域人材の協力が大きな力になることを再確認できた。
- ・中郡中の生徒たちが自分自身に、そして地域に誇りをもって成長していけるように忌憚のない意見交換ができた。

### <評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・生徒・保護者・教員のそれぞれの視点で学校評価のアンケート項目を考えることで、学校や地域が求める生徒像や学校像について、具体的な姿として捉えるよい機会となった。
- ・総合的な学習の時間(1年福祉、2年職業講話、3年パパママ体験)では予定を上回る地域の方が参加し、充実した活動になった。課題と反省点についてはグループ討議をして次年度につながる熟議ができた。
- ・具体的な支援活動が示され、全員でよりよいものにしていこうという機運が感じられ、よい熟議の場になった。

### <評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・学校HPに協議会の議事録を掲載しているので、協議内容を一般の方々にも知っていただくことができた。また、新たに決まった学校支援コーディネーターの尽力により、CS日より「つながり」が発行されて地域に回覧されるようになったため、運営協議会で行っている協議や学校支援の様子を発信することができるようになった。

### <評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・総合的な学習の充実に向けた地域人材の活用は今後さらに必要となってくる。協議会として、地域との連携促進のためのシステム構築(講師として依頼可能な方のリスト作成等)を検討していきたい。また、学年の先生方と早目に相談をしたい。
- ・休日部活動の地域クラブ活動への移行について、今後の動向に不安を感じている保護者や児童生徒が多数いることが予想される。中学校の運営協議会として、スムーズな移行のためにどのような支援ができるか、課題として取り組んでいく必要がある。
- ・学校の意向をふまえて意見が言え、よりよい協議会になるように努めたい。子供たちが「地域を愛し、地域を誇れる」ように取り組みたい。子供・学校の応援団としてできることについて熟議していく。